

令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	国際宇宙ステーション開発に必要な経費				担当部局庁	研究開発局	作成責任者
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課		宇宙開発利用課長 上田 光幸
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第十八条				関係する 計画、通知等	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第4期中長期計画 宇宙基本計画(令和5年6月13日閣議決定) 等	
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応				主要経費	科学技術振興費	
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	「民生用国際宇宙基地のための協力に関する宇宙基地協力協定」等の国際約束に基づき、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が実施する国際宇宙ステーションの運用等に要する経費に対して補助を行い、新たな技術・科学的知見の獲得や国際協力の推進などを行うことを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	「きぼう」の運用を通じ、たんぱく質実験サービスの民間パートナーとの連携や船外ポート利用のリモートワーク化による事業の拡大、超小型衛星放出(2022年度末時点で放出数は計30か国、43機)やロボットプログラミングチャレンジ(2022年度は過去最多の12か国・地域が参加)による打上げ手段を持たない国々の宇宙参画実現やSDGsへの貢献、高効率の次世代水再生処理システムに向けた技術実証や火災安全に向けた世界初の微小重力環境下での固体材料の燃焼限界酸素濃度データ取得といったアルテミス計画を含む国際宇宙探査に向けた活動を通じ、利用の拡大、国際プレゼンスの向上、探査時代も踏まえた技術の獲得等、ISSによる地球低軌道の持続的発展に向けた貢献を継続中。これらの貢献を踏まえ、2022年11月に政府によるISSへの2030年までの運用継続表明につなげることができた。一方、2030年以降、すなわち、ポストISSに向けては、企業等とのシナリオ検討等を行いつつ、ISS・国際宇宙探査小委員会や内閣府の WG1において政府を支援中。						
事業概要 (5行程度以内)	新たな技術・科学的知見の獲得や国際協力の推進などを目的として、国際宇宙ステーション(ISS)／日本実験棟「きぼう」の運用・利用を確実に実施する。また、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)の開発を着実に実施する。具体的には、国際宇宙ステーションの運用を通じて国際協力を推進するとともに、「きぼう」における様々な実験を着実に実施し、今後の宇宙開発利用に必要な新たな宇宙技術の獲得や社会的利益につながる科学的知見の獲得を目指す。加えて、HTV-Xの開発、打ち上げに向けた準備等を通じて、国内宇宙産業等の振興にも寄与する。また、米国が提案する月周回有人拠点「ゲートウェイ」を含む国際宇宙探査への効率的かつ効果的な参画を目指し、我が国が強みを有する技術(有人滞在技術等)による協力に必要な研究開発を着実に実施する。(補助率:定額) 注)日本が得ているISS／「きぼう」利用の権利(リソース)を使う実験・研究は運営費交付金で実施している。						
事業概要URL	—						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	25,983	29,531	18,630	19,529	22,561
		補正予算(B)	22,253	13,336	11,621	5,646	
		令和5年度第1次補正予算				5,646	
						—	
						—	
						—	
						—	
		前年度から繰越し(C)	976	10,069	16,014	24,179	—
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 10,069	▲ 16,014	▲ 24,179	—	
		予備費等(E)	—	—	—	—	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	39,143	36,922	22,086	49,354	22,561
	執行額(G)		39,143	36,922	22,085		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算＋補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		81%	86%	73%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			令和5年6月13日に閣議決定された宇宙基本計画について、その工程表に沿った開発を着実に進めるために所要の経費を計上しているもの。 重要政策推進枠 10,129百万円		
	(目)	国際宇宙ステーション開発費補助金	19,529	22,561			
		その他	0	0			
	計(A)		19,529	22,561			

活動内容① (アクティビティ)		「こうのとりの」・HTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により可能となる有人宇宙活動を通じた日本の国際プレゼンスの発揮								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		宇宙ステーション補給機(HTV、HTV-X)の安定的かつ効率的な運用	JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績	活動実績	件	1	0	0	-	-
				当初見込み	件	1	0	1	1	1
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ISS計画において、日本は、宇宙ステーション補給機(HTV、HTV-X)による物資補給を実施することにより、日本人宇宙飛行士の搭乗権を獲得し、日本人宇宙飛行士その活躍により有人宇宙活動のプレゼンスを発揮しているため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		日本人宇宙飛行士のISSでの長期滞在をおよそ1.5年に1回の頻度で実現し、国内外に対して、我が国の有人宇宙活動のプレゼンスを発揮すること。	直近6年で4回のISS長期滞在を実施している。	成果実績	件	4	4	4	-	
				目標値	件	4	4	4	4	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		宇宙航空研究開発機構調べ								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである「こうのとりの」・HTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により、有人宇宙活動を通じた日本の国際プレゼンスが発揮された結果としての日本人宇宙飛行士のISS長期滞在機会の獲得に直接的につながるため。								

活動内容② (アクティビティ)		「こうのとりの」・HTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により可能となる宇宙環境利用(「きぼう」が持つ微小重力等の環境における実験機会の利用)を通じた科学的・学術的成果の創出								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		宇宙ステーション補給機(HTV、HTV-X)の安定的かつ効率的な運用	JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績	活動実績	件	1	0	0	-	-
				当初見込み	件	1	0	1	1	1
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ISS計画において、日本は、宇宙ステーション補給機(HTV、HTV-X)による物資補給を実施することにより、きぼう日本実験棟において宇宙実験等の宇宙環境利用を実施する権利を獲得し、それにより研究成果を創出しているため。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 55 年度	
		日本実験棟「きぼう」において実施する様々なテーマの宇宙実験等から、執筆論文が被引用回数が世界でトップ10%に入るような質の高い研究成果を創出すること。	過去10年間における高被引用論文(※)数 ※クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベースである、Essential Science Indicatorsでは、科学全体を大きく22の研究分野に分類しており、それぞれの分野において被引用数が上位1%の論文を高被引用論文(Highly Cited Papers)と定義している。	成果実績	編	60	78	85	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベース「Essential Science Indicators」より。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		アクティビティである「こうのとりの」・HTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により、宇宙環境利用(「きぼう」が持つ微小重力等の環境における実験機会の利用)を通じた科学的・学術的成果が創出された結果としての学術論文における高被引用論文数に直接的につながるため。								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
22,085百万円

事業概要
国立研究開発法人宇宙航空研究開
発機構が実施する民生用国際宇宙
基地のための協力に関する日本国政
府とアメリカ合衆国航空宇宙局との間
の了解覚書に基づく援助業務等に要
する経費に対して補助。

※差額は国庫に返納済み

〔交付〕

【A】

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
22,074百万円

事業概要
国際宇宙ステーション(ISS)の運用を
確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙
環境利用技術の獲得と「きぼう」利用
推進等。

【随意契約(そ
の他)等】

【B】

民間企業等(158社)
22,074百万円

事業概要
国際宇宙ステーション(ISS)の運用を
確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙
環境利用技術の獲得と「きぼう」利用
推進等。

費目・使途
(「資金の流れ」におい
てブロックごとに最大の
金額が支出されている
者について記載する。
費目と使途の双方で実
情が分かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
業務費	国際宇宙ステーション(ISS)の運用を確実に実施、有人宇宙技術及 び宇宙環境利用技術の獲得と「きぼう」利用推進等	22,074	役務	HTV-X機体システム1～3号機の開発	2,414
計		22,074	計		2,414

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人宇宙航空 研究開発機構	9012405001241	国際宇宙ステーション(ISS)の運用を確 実に実施、有人宇宙技術及び宇宙環境利 用技術の獲得と「きぼう」利用推進等	22,074	補助金等交付	-	-	

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
	三菱重工業株式会社	8010401050387	HTV-X機体システム1～3号機の開発を行う 契約時契約方式[随意契約(企画競争)]契約期間:2018年度～2021年度	2,414	その他	-	-	
2	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 環境制御・生命維持サブシステムの機能制御統括システ ム開発を行う 契約時契約方式[随意契約(その他)]契約期間:2021年度～2023年度	897	その他	-	-	
3	三菱重工業株式会社	8010401050387	H3ロケット 新型宇宙ステーション補給機利用開発 機体システム開発を行う 契約時契約方式[随意契約(その他)]契約期間:2017年度～2021年度	373	その他	-	-	
4	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 二酸化炭素除 去装置の開発を行う	289	一般競争契約 (総合評価)	-	-	
5	三菱重工業株式会社	8010401050387	2022年度 JEM軌道上運用に 係る技術支援(そのア)を行う	242	随意契約(その 他)	-	-	
6	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 有害ガ ス除去装置の開発を行う	124	一般競争契約 (総合評価)	-	-	
7	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEM搭載小動物飼育装置補 用品の調達(その7)を行う	122	随意契約(その 他)	-	-	
8	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEMシステム・共通実験装置 補用品の調達(その1のア)を行う 契約時契約方式[随意契約(その他)]契約期間:2021年度～2022年度	117	その他	-	-	
9	三菱重工業株式会社	8010401050387	H3ロケット HTV-X対応 射点設備の改修整備(そのア)を行う 契約時契約方式[随意契約(その他)]契約期間:2019年度～2021年度	33	その他	-	-	
10	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEM搭載小動物飼育装置補 用品の調達(その8)を行う	28	随意契約(その 他)	-	-	
11	三菱重工業株式会社	8010401050387	小動物飼育ミッション試験実施後のリファーマビッシュ (MHU8地上対照試験等)を行う	16	随意契約(その 他)	-	-	
12	三菱重工業株式会社	8010401050387	小動物飼育ミッション地上対照試験実施 後のリファーマビッシュ(MHU7)を行う	13	随意契約(その 他)	-	-	
13	三菱重工業株式会社	8010401050387	FY2022 小動物飼育実験に係る運用技術 支援および実験装置の再整備を行う	5	随意契約(その 他)	-	-	
14	三菱重工業株式会社	8010401050387	FY2022種子島宇宙センター射 点系設備保全作業を行う	1	随意契約(その 他)	-	-	
15	三菱電機株式会社	4010001008772	HTV-Xサービスモジュール1～3号機の開発を行う 契約時契約方式[随意契約(企画競争)]契約期間: 2018年度～2022年度	3,617	その他	-	-	
16	三菱電機株式会社	4010001008772	HTV-XパレットのGateway搭載化開発を行う 契約時契約方式[随意契約(その他)]契約期間:2020 年度～2021年度	415	その他	-	-	
17	三菱電機株式会社	4010001008772	新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)向け HTV運用 管制システムの機能付加(その4)を行う	139	随意契約(その 他)	-	-	
18	三菱電機株式会社	4010001008772	2022年度 HTV-X地上システ ムに係る技術支援を行う	29	随意契約(その 他)	-	-	
19	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 JEM運用業務を行 う	3,517	随意契約(企画 競争)	2	-	
20	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 ISS 日本人宇宙飛行士健康管 理運用業務を行う	271	随意契約(企画 競争)	1	-	
21	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度「月周回有人拠点(Gateway)」 に係るプログラム活動技術支援業務を行う	66	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
22	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	FY2022 月周回有人拠点居住棟 環境制 御・生命維持サブシステムインテグレー ション作業支援を行う	56	一般競争契約 (最低価格)	2	-	
23	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	FY2022「きぼう」日本実験棟実験運用に 係るインテグレーション業務(物質科学)を 行う	39	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
24	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	FY2022「きぼう」日本実験棟実験運用に 係るインテグレーション業務(生命科学)を 行う	38	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
25	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 月軌道プラットフォームゲート ウェイに係る安全・ミッション保証業務支 援(その1)を行う	37	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
26	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	HTV-X2～3号機 技術調整支援を行う 契約時契約方式[一般競争契約(最低価 格)]契約期間:2021年度～2024年度	30	その他	-	-	
27	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 新型宇宙ステーション補給機1 号機、2号機、3号機の運用準備および実 運用を行う	23	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
28	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 JEM 実験装置構造設計に係る 技術調整支援を行う	19	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
29	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	HTV-X1号機射場インテグレーション支援 (その2)を行う	14	一般競争契約 (最低価格)	1	-	
30	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 JEM画像取得処理装置用地上 データ処理装置(IPU-G)及び周辺装置の 技術支援を行う	12	随意契約(その 他)	-	-	

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022 年度 JEM システム・装置類の構造・破壊管理要求適合性審査に係る支援を行う	9	一般競争契約 (最低価格)	1	—	—
2	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 国際宇宙ステーション輸送機に係る技術情報管理及び連絡業務を行う	4	一般競争契約 (最低価格)	1	—	—
3	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2022年度 米国セグメントレーナ(AST-J)の整備支援作業を行う	1	随意契約(少額)	—	—	—
4	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ドッキング機構の開発を行う 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間: 2021年度～2023年度	636	その他	—	—	—
5	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	JEMシステム補用品の調達(その4のイ)を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2020年度～2021年度	362	その他	—	—	—
6	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	JEM搭載IVA補給型小型機高実験プラットフォーム2型の製作を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2018年度～2022年度	220	その他	—	—	—
7	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2022年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのイ)を行う	91	随意契約(その他)	—	—	—
8	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X向けHTV補給ラックフライトモデルの調達を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2020年度～2022年度	74	その他	—	—	—
9	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X1～3号機 推進系充填装置の準備作業及び後処理を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度～2022年度	35	その他	—	—	—
10	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ドッキング機構の予備設計を行う 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間: 2020年度～2020年度	28	その他	—	—	—
11	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X1号機搭載 衛星放出システムの設計・製作を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2020年度～2020年度	24	その他	—	—	—
12	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2022年度 JEM搭載用静電浮遊炉の軌道上運用に関わる技術支援を行う	5	随意契約(その他)	—	—	—
13	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2022年度「きぼう」からの超小型衛星放出機会提供 小型衛星搭載作業および軌道上運用に係る技術支援を行う	1	随意契約(その他)	—	—	—
14	日本電気株式会社	7010401022916	JEMシステム補用品の調達(その3のウ)を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度～2022年度	281	その他	—	—	—
15	日本電気株式会社	7010401022916	HTV-X用Flash LIDARの調達を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度～2021年度	246	その他	—	—	—
16	日本電気株式会社	7010401022916	2022年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのウ)を行う	166	随意契約(その他)	—	—	—
17	日本電気株式会社	7010401022916	HTV-X用Flash LIDARの開発 (その6)を行う	73	随意契約(その他)	—	—	—
18	日本電気株式会社	7010401022916	2022年度 JEM運用システムに係る改善、試験対応等の実施を行う	16	随意契約(その他)	—	—	—
19	日本電気株式会社	7010401022916	JEM搭載光衛星間通信システム用トランスポンダの製作(その2)を行う	7	随意契約(その他)	—	—	—
20	日本電気株式会社	7010401022916	2022年度 JEM運用管制システム及びHTV-X運用管制システム用仮想化基盤のストレージ増強を行う	4	随意契約(その他)	—	—	—
21	日本電気株式会社	7010401022916	2022年度 HTV-X対応PROXチェックアウト地上局(RF通信系)の保守点検を行う	1	随意契約(その他)	—	—	—
22	川崎重工業株式会社	1140001005719	月周回有人拠点居住棟 温湿度制御装置の製作を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2020年度～2022年度	311	その他	—	—	—
23	川崎重工業株式会社	1140001005719	JEMシステム補用品の調達 (その5のオ)を行う	220	随意契約(その他)	—	—	—
24	川崎重工業株式会社	1140001005719	2022年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのオ)を行う	47	随意契約(その他)	—	—	—
25	川崎重工業株式会社	1140001005719	基幹ロケット射点設備の改修整備 (整備組立棟等)(その3)を行う	27	随意契約(その他)	—	—	—
26	川崎重工業株式会社	1140001005719	2022年度 JEMシステム補用品の点検を行う	3	随意契約(その他)	—	—	—
27	千代田化工建設株式会社	3020001018029	CO2 除去システム軌道上実証装置の開発(その2)を行う	291	一般競争契約 (最低価格)	1	—	—
28	千代田化工建設株式会社	3020001018029	2022年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのク)を行う	40	随意契約(その他)	—	—	—
29	千代田化工建設株式会社	3020001018029	2022年度 ライブイメージングシステム(COSMIC)の制御用ソフトウェアの改修(その2)を行う	16	随意契約(その他)	—	—	—
30	千代田化工建設株式会社	3020001018029	2022年度 ライフサイエンス実験用ライブイメージングシステム(COSMIC)の補用品整備(その3)を行う	15	随意契約(その他)	—	—	—

